

第2期「第3回桐生・みどり未来創生会議」開催結果概要

- | | | |
|---|------|---|
| 1 | 日 時 | 令和4年6月29日（水）午後6時00分から7時15分まで |
| 2 | 場 所 | 桐生商工会議所 6階 ケービックホール |
| 3 | 出席者 | 委員 桐生市：荒木市長及び市民委員 8人（2人欠席）
みどり市：須藤市長及び市民委員 8人（2人欠席）
事務局職員 桐生市：5人 みどり市：5人 |
| 4 | 報道機関 | 3社（上毛新聞、桐生タイムス、Webタイムス笠懸 計4人） |
| 5 | 傍聴者 | 15人 |
| 6 | 経過報告 | 第2期「第2回桐生・みどり未来創生会議」の開催結果概要を事務局より報告 |
| 7 | 協議内容 | <p>議題である「公共施設のあり方」に関して、「共同事業施設」と「共同事業施設以外の施設」に分けて協議を行った。「共同事業施設」については、事務局から施設の概要や、4月に実施した共同事業施設見学会のアンケート調査結果の説明を行った。</p> <p>(1) 市民委員からの意見・提案等</p> <p>○「共同事業施設」について</p> <ul style="list-style-type: none">・越谷市や栃木市の斎場では、PFIという民間資金を活用した手法で建設している。事業手法について研究していくべき。・どの施設も生活していく上でなくてはならない、ストップできない施設である。大きな施設であることを考えると、時間もかかり、待たなしの状況である。改修には時間が掛かるため、両市でしっかり協議を行い、時代に即した形で迅速に事務を進めてもらいたい。・職員が、厳しい環境の中、周辺の住民の方々に協力いただくためにコミュニケーションを取るなど苦労も重ねている話を聞き、頭が下がる思いだった。・どこにどのような施設を建設するのかなどの課題も多いため、早急に両市で協議を行ってもらい、市民の視点と民間のノウハウを入れながら、この地域に生活し続けることができるように今から取り組む必要がある。など <p>○「共同事業施設以外の施設」について</p> <ul style="list-style-type: none">・これから再構築する施設については、両市で適正な配置や、同じような施設の建設を避けるなど、無駄のないように、協力し合ってもらいたい。など <p>(2) 協議結果</p> <p>「共同事業施設」については、施設の老朽化を踏まえ、両市で締結している「共同事業に関する覚書」に基づく協議を早急に両市で検討を始めるべきということが確認された。</p> |
| 8 | その他 | 次回の会議は、「広域観光」についての協議を実施する予定。
次回の会議は、概ね2～3か月後の開催を予定。 |